

平成 26 年度決算に係る

定期監査調書

平成 27 年 6 月

いじめ・不登校総合対策センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	1頁
	(2) 監査意見	1頁
	(3) 決算審査意見	1頁
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2～6頁
7	決算調書(総括表)	7頁
8	事業別実施状況調べ	8頁
9	予備費の充用調べ	9頁
10	繰越関係調べ	9頁
	(1) 継続費逋欠繰越調べ	9頁
	(2) 繰越明許費調べ	9頁
	(3) 事故繰越調べ	9頁
11	収入証紙取扱額調べ	9頁
12	収入事務処理状況調べ	9頁
	(1) 分担金及び負担金	9頁
	(2) 使用料	9頁
	(3) 手数料	9頁
	(4) 財産収入	9頁
	(5) 寄付金	9頁
	(6) 諸収入	10頁
	(7) 現金の取扱状況	10頁
13	税外収入未済額調べ	10頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	10頁
15	税外収入不納欠損額調べ	10頁
16	債務負担行為の状況調べ	10頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	10頁
	(1) 負担金	10頁
	(2) 補助金	10頁
	(2-2) 補助金(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)	10頁
	(3) 交付金	10頁
	(4) 委託料	11頁
	(4-2) 委託料(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)	11頁
18	工事請負費調べ	12頁
18-2	工事請負費調べ(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)	12頁
19	財産に関する調べ	12頁
	(1) 公有財産	12頁
	(2) 金券類の受払状況	12頁
	(3) 基金	12頁
	(4) 債権	12頁
20	財産の貸付及び使用許可調べ	12頁
	(1) 土地及び建物	12頁
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	12頁
21	借受不動産明細調べ	13頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	13頁
	(1) 職員住宅	13頁
	(2) 職員駐車場	13頁
23	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	13頁
24	寄附物件の受納状況調べ	13頁
25	備品の処分状況調べ	13頁

26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ .....	13頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13頁
	(2) 物品の照合	13頁
27	貸付金等状況調べ .....	13頁
	(1) 総括表 .....	13頁
	(2) 償還状況 .....	13頁
28	いじめについての連携・支援の流れ .....	14頁
29	県内のいじめの認知件数 .....	14頁
30	いじめの解消状況(平成25年度) .....	14頁
31	当センターへのいじめ相談の対応 .....	14頁
32	不登校についての連携・支援の流れ .....	15頁
33	不登校児童生徒数 .....	15頁
34	不登校児童生徒の変容状況(平成26年度) .....	15頁
35	当センターへの不登校相談の対応 .....	15頁
36	ハートフルスペースの利用状況 .....	16頁
○	意見、要望等 .....	16頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
/	総務担当	予算・決算、庶務
	指導担当	いじめ・不登校対策の推進、いじめ・不登校に関する生徒指導
	教育相談担当	教育相談、教育相談研修・研究調査

4 職員の定員、現員調べ

(平成27年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	
定員	7	3	0	0	0	0	7	3	
現員	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	10	5	0	0	0	0	10	5	専門指導員4 指導員2 相談員1 ソーシャルワーカー1 カウンセラー1 事務補助1

5 役付職員の調べ

(平成27年6月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
センター長	音田 正顕		2	
参事	北村 徹		2	出納員 教育センター総務課長
課長補佐	森山 雅代		2	教育センター課長補佐

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要										
<p>いじめ防止対策推進事業</p> <p>決算（見込）額 12,014千円 国庫 2,686千円 一般財源 9,322千円 その他 6千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 喫緊の教育課題であるいじめ問題、電話・メールによる相談を24時間体制で対応するとともに、いじめの防止等に関する機関及び団体の連携を図りながら取組を進める。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 ※相談窓口関係機関連絡会議</p> <table border="1" data-bbox="395 488 1453 1288"> <tr> <td data-bbox="395 488 730 763">いじめ相談窓口の充実</td> <td data-bbox="730 488 1453 763"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「いじめ110番」「いじめ相談専用メール」の夜間・休日の対応に限り、専門性・実績を有する県内の団体へ業務委託により実施</li> <li>○委託先との連絡会議の開催（毎月）</li> <li>○県内の全児童生徒に向けて「相談窓口クリアファイル」を配布（8月中旬）</li> <li>○相談窓口関係機関連絡会議の開催（7月、12月）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 763 730 927">鳥取県いじめ問題対策連絡協議会の設置</td> <td data-bbox="730 763 1453 927"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめ防止対策推進法第14条の趣旨を踏まえ、いじめの防止等に関する機関及び団体の連携を図るため「鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」を開催（5月、10月、3月）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 927 730 1128">いじめ問題スーパーバイザーの配置</td> <td data-bbox="730 927 1453 1128"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員今度珠美氏を委嘱</li> <li>◇ネットいじめ学校支援指導者研修の研修計画に対する助言</li> <li>◇第2回、第3回研修講師</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1128 730 1205">非常勤職員の配置</td> <td data-bbox="730 1128 1453 1205"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○電話相談委託先報告等の事務処理</li> <li>○各種会議・研修の準備及び資料作成補助</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1205 730 1288">ネットいじめ学校支援指導者研修の実施</td> <td data-bbox="730 1205 1453 1288"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市町村教育委員会指導主事等を対象とした研修を実施（7月、8月、11月）</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>目的：いじめ相談に関わる機関が情報交換・共有し、いじめ問題の早期の課題解決に向けて連携を図る。</p> <p>構成：県警察本部、知事部局（人権担当部局、児童相談所所管課、私学担当課） 県教育委員会事務局関係課</p> <p>※鳥取県いじめ問題対策連絡協議会</p> <p>目的：いじめの防止等に関する機関及び団体の関係者により構成される連絡協議会を置き、これらの機関・団体の連携を図る。</p> <p>構成：県小学校長会 県中学校長会 県高等学校長協会 県特別支援学校長会 私立中学高等学校長会 県PTA協議会 県高等学校PTA連合会 県特別支援学校PTA連合会 県警察本部 鳥取地方法務局 県医師会 県弁護士会 県臨床心理士会 都市教育長会 町村教育長会 県人権局 県教育・学術振興課 児童相談所 県教育委員会</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、県内のいじめ問題に関する機関及び団体の連携を図った。</li> <li>○相談窓口の周知を従来のカードからクリアファイルに変更し、「鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」としての共同メッセージを掲載した。</li> <li>○ネットいじめ対策を推進するため、学校を直接支援する立場にある市町村教育委員会指導主事等を対象としたシリーズ研修を実施した。</li> </ul>	いじめ相談窓口の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「いじめ110番」「いじめ相談専用メール」の夜間・休日の対応に限り、専門性・実績を有する県内の団体へ業務委託により実施</li> <li>○委託先との連絡会議の開催（毎月）</li> <li>○県内の全児童生徒に向けて「相談窓口クリアファイル」を配布（8月中旬）</li> <li>○相談窓口関係機関連絡会議の開催（7月、12月）</li> </ul>	鳥取県いじめ問題対策連絡協議会の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめ防止対策推進法第14条の趣旨を踏まえ、いじめの防止等に関する機関及び団体の連携を図るため「鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」を開催（5月、10月、3月）</li> </ul>	いじめ問題スーパーバイザーの配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員今度珠美氏を委嘱</li> <li>◇ネットいじめ学校支援指導者研修の研修計画に対する助言</li> <li>◇第2回、第3回研修講師</li> </ul>	非常勤職員の配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電話相談委託先報告等の事務処理</li> <li>○各種会議・研修の準備及び資料作成補助</li> </ul>	ネットいじめ学校支援指導者研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市町村教育委員会指導主事等を対象とした研修を実施（7月、8月、11月）</li> </ul>	
いじめ相談窓口の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「いじめ110番」「いじめ相談専用メール」の夜間・休日の対応に限り、専門性・実績を有する県内の団体へ業務委託により実施</li> <li>○委託先との連絡会議の開催（毎月）</li> <li>○県内の全児童生徒に向けて「相談窓口クリアファイル」を配布（8月中旬）</li> <li>○相談窓口関係機関連絡会議の開催（7月、12月）</li> </ul>											
鳥取県いじめ問題対策連絡協議会の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめ防止対策推進法第14条の趣旨を踏まえ、いじめの防止等に関する機関及び団体の連携を図るため「鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」を開催（5月、10月、3月）</li> </ul>											
いじめ問題スーパーバイザーの配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員今度珠美氏を委嘱</li> <li>◇ネットいじめ学校支援指導者研修の研修計画に対する助言</li> <li>◇第2回、第3回研修講師</li> </ul>											
非常勤職員の配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電話相談委託先報告等の事務処理</li> <li>○各種会議・研修の準備及び資料作成補助</li> </ul>											
ネットいじめ学校支援指導者研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市町村教育委員会指導主事等を対象とした研修を実施（7月、8月、11月）</li> </ul>											

事業名	概要
	<p>○各市町村及び県立学校の緊急連絡先を照会し、土・日・祝日等の命に関わる相談があった場合の連絡体制を整備した。</p> <p>ウ 成果</p> <p>○「鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、相談窓口紹介クリアファイルに共同メッセージを掲載したり、明日へつなぐ心のキャンペーンに協力したりすることができ、いじめ問題に関係する機関の連携が図られている。</p> <p>○電話相談・メール相談の夜間・休日委託により、専門性を有する相談員の対応が可能になっている。</p> <p>○命に関わる内容の相談において、県警察本部と連携して対応し、相談者の安全確保を行うことができた。</p> <p>エ 課題</p> <p>○鳥取県いじめ問題対策連絡協議会を多くの機関・団体で構成し、様々な機関団体の連携が図られるようになったが、開催日の調整に苦慮している。</p> <p>○非通知の電話相談や海外プロバイダのメールアドレスからのメール相談の場合、アドレス等からの相談者特定が難しい。</p>

事業名	概要
<p>高等学校等における不登校（傾向）生徒等支援事業</p> <p>決算見込額 7,506千円 （財源内訳）</p> <p>一般財源 7,488千円</p> <p>その他 18千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（１）目的 高等学校等における不登校（傾向）や概ね20歳くらいまでのひきこもりの青少年を、学校復帰や社会参加に向けて支援する。また、高校生の不登校や中途退学の未然防止の観点から、学校生活になじみにくい生徒等の実態把握の方法を普及し、早期発見・早期対応を図る。</p> <p>（２）事業の実施状況</p> <p>○教育支援センター「ハートフルスペース」の運営 高校生及び概ね20歳くらいまでの青少年で、不登校やひきこもりの者を対象とした教育支援センター「ハートフルスペース」を設置し、適応指導や心理相談、進路支援、保護者支援等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員が、相談者の状況に応じた指導・支援を行った。</li> <li>・カウンセラー（臨床心理士）が本人や保護者等の心理相談を実施した。</li> <li>・ソーシャルワーカーが進路相談や福祉就労等移行支援を行った。</li> <li>・週1回のスタッフ会議で情報共有と支援の方向性を確認しながら進めた。</li> <li>・保護者との個別懇談を年2回実施し、指導・支援の連携を図った。</li> <li>・利用者のニーズに合わせた通室生・保護者研修会を行った。</li> <li>・高校、関係機関と連携をとりながら適応指導や就労支援を行った。</li> <li>・事業の充実を図る目的から連絡会を年2回実施した。</li> <li>・通信「ビリーブ」を年3回発行した。</li> </ul> <p>○学校不適応生徒等の実態を把握する方法を普及する取組の充実 不登校や中途退学の未然防止の観点から、学校不適応生徒等の実態を把握する方法を普及した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」（hyper-QU）等に関する校内研修会等での指導・助言を行った。</li> </ul> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>（１）利用者の実態やニーズをきちんと把握し個々に応じた指導・支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回のスタッフ会議で利用者の情報共有をていねいに行った。</li> <li>・個々に応じた目標設定により、進路相談や就労支援を行った。</li> <li>・必要に応じて高校、関係機関と連携をとりながら支援した。</li> </ul> <p>（２）「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」（hyper-QU）の活用方法の普及のために、学校との事前の打ち合わせを行い、学校のニーズに対応する校内研修会や事例検討会にするよう努めた。教育センター教育相談課とも協力しながら研修会の持ち方を工夫した。</p>

事業名	概要															
	<p>ウ 成果</p> <p>(1) 教育支援センター「ハートフルスペース」の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の実態の理解に努め、指導・支援することができた。</li> <li>* 利用状況 (指導員・カウンセラー・ソーシャルワーカー)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="624 445 1315 573"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ相談回数</td> <td>1530</td> <td>2017</td> <td>1829</td> <td>1924</td> </tr> <tr> <td>利用人数</td> <td>66(20)</td> <td>62(17)</td> <td>42(12)</td> <td>28(9)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>* ( ) 内は、入室届を提出して利用した者 &lt;H27.3月末現在&gt;</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に社会参加に向けた変化等が見られた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 就労支援機関へのつながり、就労体験、アルバイト就労 等</li> <li>* 進学希望先の決定、受験のための準備 等</li> <li>* 指導員との交流の促進、集団活動への参加 等</li> <li>* 医療、就労等の専門機関につながり状況が改善 等</li> </ul> </li> <li>・6月と3月には、次へのステップに進むことができた2名が退室した。</li> <li>・年度をまたいだ長期にわたる利用者が多い。</li> <li>・年2回の連絡会(9・2月)を実施し、対応の困難事例について様々な角度から検討し、状況の改善に役立てることができた。</li> </ul> <p>(2) 学校不適応生徒等の実態を把握する方法を普及する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校課の「子どもたちの社会性を育む事業」、高等学校課の「高等学校における発達障がいのある生徒等支援事業」と連携をして研修会に協力した。</li> <li>・「Q-U」「hyper-QU」についての教職員研修を実施し、その見方や活用の仕方について理解が深まった。</li> <li>・実施した研修会の数…小学校11(8) 中学校5(4) 高等学校5(1) 小中学校合同2(2) 市町教委指導主事研修1</li> <li>* ( ) は教育センター教育相談課と協力した数</li> </ul> <p>エ 課題</p> <p>(1) ハートフルスペースの利用者は複雑な背景のある者が多いため、スタッフの研修機会を保障していく必要がある。</p> <p>(2) 「Q-U」や「hyper-QU」についての職員研修は、学校で自立して取り組む方向性の支援とし、学校の取組の様子によって対応を変えていく必要がある。</p>	年度	H23	H24	H25	H26	延べ相談回数	1530	2017	1829	1924	利用人数	66(20)	62(17)	42(12)	28(9)
年度	H23	H24	H25	H26												
延べ相談回数	1530	2017	1829	1924												
利用人数	66(20)	62(17)	42(12)	28(9)												



事業名	概要				
<p>明日へつなぐ心のキャンペーン事業2014～子どもたちが取り組むいじめ対策～</p> <p>決算見込額 4,557千円 (財源内訳) 一般財源 4,557千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 いじめはどの子にも起こりうるという理解をもとに、児童生徒をいじめに向かわせないための未然防止への取組を充実する必要がある。そこで、いじめ未然防止のための児童生徒の主体的な取組を継続的に促し、児童生徒参加型の取組とするための事業を展開し、いじめ問題への関心を高め、いじめ防止のために自分たちができることを考えるきっかけとすることを目的とする。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="486 562 1509 943"> <tr> <td data-bbox="486 562 727 786">明日へつなぐ心のキャンペーン</td> <td data-bbox="727 562 1509 786"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「笑顔でつながるポスター・標語コンクール」の実施（7月から9月）</li> <li>・入賞作品を掲載したカレンダー作成（2月）</li> <li>・希望する学校にオリジナル缶バッジ制作器具の貸出、パーツの無料提供（通年）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="486 786 727 943">こども未来フォーラム</td> <td data-bbox="727 786 1509 943"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月24日（土）鳥取県立生涯学習センターにて開催</li> <li>・野口健氏の講演、児童生徒による学校での取組の発表等を行った</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>イ 平成26年度の事業に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止に対する子どもたちの自主的な取組となるために、オリジナル缶バッジづくりを呼びかけた。</li> <li>・「こども未来フォーラム」ではポスター・標語の入選作品の紹介や子どもたちによる学校の取組を発表するなど、子どもたちからの発信を多く行った。</li> </ul> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「笑顔でつながるポスター・標語コンクール」は、ポスターの部101点（小37、中高64）、標語の部512点（小198、中251、高48、親子15）の応募があった。入賞作品を掲載したカレンダーを作成し、各学級掲示用として県全小・中・高等学校、特別支援学校に配付した。</li> <li>・「こども未来フォーラム」では、小学生から高齢者まで幅広い年代層の来場者（約350人）の参加を得ることができた。いじめ問題に関する講演、子どもたちによる学校の取組発表・演劇・絵本の読み聞かせなどを通して、いじめ問題に関心を持ったり、仲間づくり等について考えるよいきっかけとなった。</li> <li>・オリジナル缶バッジ制作器具を11校（小8、中3）1園に貸出し、約2000個のバッジが作られ、仲間づくり等の取組に活用された。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめをなくすための子どもたちの自主的な取組を支援するためにキャンペーンを展開したが、より自主的な取組を継続していくための工夫が引き続き必要である。</li> </ul>	明日へつなぐ心のキャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「笑顔でつながるポスター・標語コンクール」の実施（7月から9月）</li> <li>・入賞作品を掲載したカレンダー作成（2月）</li> <li>・希望する学校にオリジナル缶バッジ制作器具の貸出、パーツの無料提供（通年）</li> </ul>	こども未来フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月24日（土）鳥取県立生涯学習センターにて開催</li> <li>・野口健氏の講演、児童生徒による学校での取組の発表等を行った</li> </ul>
明日へつなぐ心のキャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「笑顔でつながるポスター・標語コンクール」の実施（7月から9月）</li> <li>・入賞作品を掲載したカレンダー作成（2月）</li> <li>・希望する学校にオリジナル缶バッジ制作器具の貸出、パーツの無料提供（通年）</li> </ul>				
こども未来フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月24日（土）鳥取県立生涯学習センターにて開催</li> <li>・野口健氏の講演、児童生徒による学校での取組の発表等を行った</li> </ul>				

7 決算調書  
(総括表)  
一般会計

(単位:円)

区分	科目	算 現 額					決算額 B	翌年 繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	予 補正予算額	継続繰繰	費事業 及繰越	及び繰 越額				
	教育センター費	27,025,000					27,025,000	24,075,691	2,949,309	
						0	0		0	
						0	0		0	
						0	0		0	
						0	0		0	
						0	0		0	
						0	0		0	
						0	0		0	
	合計	27,025,000	0			0	27,025,000	24,075,691	2,949,309	
上	国庫補助金	2,686,000					2,686,000	2,686,481	△481	
財	諸収入	27,000					27,000	25,288	1,712	
源	合計	2,713,000	0			0	2,713,000	2,711,769	1,231	
内	一般県費充当	24,312,000	0			0	24,312,000	21,363,922	2,948,078	
	合計	27,025,000	0			0	27,025,000	24,075,691	2,949,309	

## 8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
教育センター費					
いじめ防止対策推進事業	13,424,000	12,013,033	0	1,410,967	
高等学校における不登校(傾向)生徒等支援事業	8,850,000	7,505,810	0	1,344,190	
明日につながる心のキャンペーン事業 2014	4,751,000	4,556,848	0	194,152	
目計	27,025,000	24,075,691	0	2,949,309	
合計	27,025,000	24,075,691	0	2,949,309	

9 予備費の充用調べ	該当なし
10 繰越関係調べ	該当なし
(1) 継続費運次繰越調べ	該当なし
(2) 繰越明許費調べ	該当なし
(3) 事故繰越調べ	該当なし
11 収入証紙取扱額調べ	該当なし
12 収入事務処理状況調べ	該当なし
(1) 分担金及び負担金	該当なし
(2) 使用料	該当なし
(3) 手数料	該当なし
(4) 財産収入	該当なし
(5) 寄付金	該当なし

## (6) 諸収入

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入	雑入	雑入	1	25,288	25,288	0	0	非常勤職員雇用保険料	
							0		
		計(節)	1	25,288	25,288	0	0		
		目計	1	25,288	25,288	0	0		
		合計	1	25,288	25,288	0	0		

## (7) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況	該当なし
イ つり銭の状況	該当なし
13 収入未済額調べ	該当なし
14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ	該当なし
15 税外収入不納欠損額調べ	該当なし
16 債務負担行為の状況調べ	該当なし
17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	
(1) 負担金	該当なし
(2) 補助金	該当なし
(2-2) 補助金(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行するもの)	該当なし
(3) 交付金	該当なし

(4)委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	国補単別の別	委託料の名称	委託契約の相手方	当初契約		入札等 年月日 (契約保証 金納付等 年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	契約年月日 (契約額)			契約期間	支出区分	支出年月日		金額
教育センター費	国補1/3	夜間・休日の いじめに関する 電話・メール 相談対応業務 委託	(福)鳥取こども学園		(契約年月日) 契約額	契約形態	H27.3.31	概	H26.4.30外	7,824,944	本業務を行えるのは、県内では鳥取こども学園だけである。	
				7,824,944	(H26.4.1) 7,824,944	26.4.1~ 27.3.31						H26.3.27 (免除)
教育センター費	県費	こども未来 フォーラムの 企画、運営等 業務委託	(株)ウェブプラン・プロモーション		(契約年月日) 契約額	契約期間	H27.3.9	精	H27.3.20	4,354,020	公募型プロポーザル方式	
				4,355,000	(H26.8.27) 4,354,020	26.8.27~ 27.2.27						H26.8.27 (免除)
予定価格が20万円未満のもの												
目計										12,178,964		

(4-2)委託料(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)

該当なし

18 工事請負費調べ	該当なし
18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)	該当なし
19 財産に関する調べ	
(1)公有財産	
ア 土地	該当なし
イ 建物	該当なし
ウ 山林	該当なし
エ 不動産売却	該当なし
オ 財産の交換	該当なし
カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)	該当なし
キ 物権	該当なし
ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)	該当なし
(ア) 異動状況	該当なし
(イ) 出願及び登録の状況	該当なし
(ウ) 活用の状況	該当なし
ケ 有価証券	該当なし
コ 出資による権利	該当なし
(2)金券類の受払状況	
ア 金券の受払状況	該当なし
イ タクシーチケットの受払状況	該当なし
(3)基金	該当なし
(4)債権	該当なし
20 財産の貸付け及び使用許可調べ	
(1) 土地及び建物	
ア 土地	該当なし
イ 建物	該当なし
(2) 物品	該当なし

21 借受不動産明細調べ 該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

ア 管理状況 該当なし

イ 異動状況 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況 該当なし

イ 異動状況 該当なし

23 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ 該当なし

24 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

25 備品の処分状況調べ 該当なし

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
26年12月22日 ～ 26年12月22日	・有      ・無		

27 貸付金等状況調べ

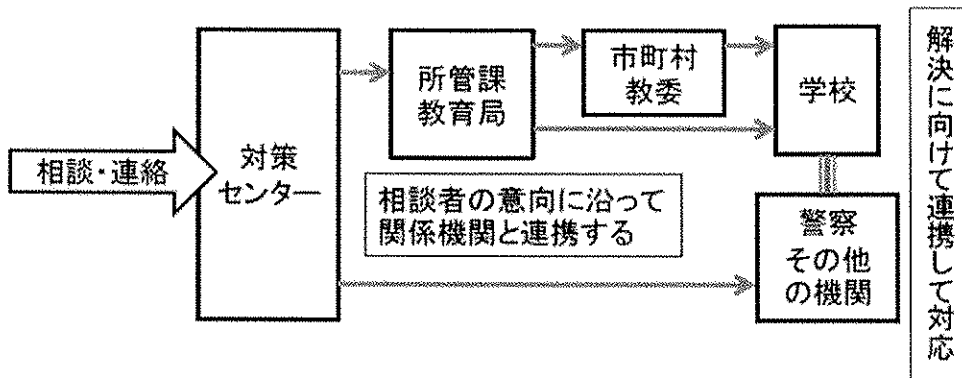
(1)総括表 該当なし

(2)償還状況 該当なし



28 いじめについての連携・支援の流れ

(当センターや学校、関係機関に相談があった場合、各機関はどのように連携して支援を行っているか、流れ図等で記載すること。)



29 県内のいじめの認知件数

(単位:件)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
小学校	13	21	132	52	69
中学校	45	31	147	73	57
高等学校	8	24	24	20	-
特別支援学校	2	2	10	12	-
計	68	78	313	157	-
発生件数/千人(県)	1.0	1.2	4.8	2.4	-
発生件数/千人(全国)	5.5	5.0	14.3	13.4	-

※1 H22～H25は文部科学省調査による国・公・私立の確定値

※2 H26は独自調査による速報値(平成27年3月31日現在) 公立小・中学校のみ

30 いじめの解消状況(平成25年度)

(単位:件) 公立学校のみ

区分	解消している	一定の解消が図られたが継続支援中	解消に向けて取組中	他校への転学、退学等	計
小学校	42	7	0	3	52
中学校	63	10	0	0	73
高等学校	11	2	0	0	13
特別支援学校	10	1	1	0	12
計	126	20	1	3	150

31 当センターへのいじめ相談の対応

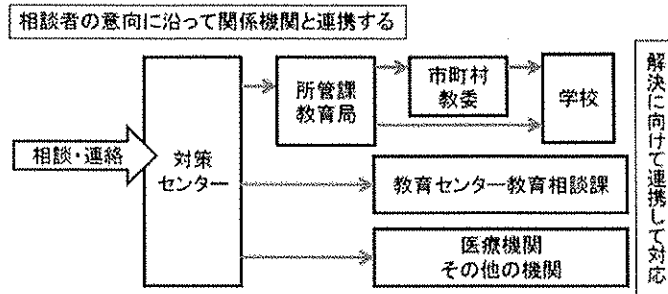
(平成26年度)

(単位:回) 平成27年3月31日現在

相談方法	校種等							(a)のうち相談のみ	(a)のうち関係機関と連携	(a)のうち他機関に紹介
	小	中	高	特支	その他	不明	計(a)			
電話	22	23	11	0	4	1	61	42	17	1
メール	2	0	2	16	0	2	22	4	18	0
来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	24	23	13	16	4	3	83	46	35	1

32 不登校についての連携・支援の流れ

(当センターや学校に相談があった場合、各機関はどのように連携して支援を行っているか、流れ図等で記載すること。)



33 不登校児童生徒数

(単位:件)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
小学校	109	109	119	130	139
中学校	526	477	379	380	426
小中計	635	586	498	510	565
不登校児童生徒数/千人(県)	12.9	12.0	10.3	10.7	
不登校児童生徒数/千人(全国)	11.3	11.2	10.9	11.7	
高等学校	263	288	328	258	
不登校生徒数/千人(県)	15.5	17.5	20.3	16.6	
不登校生徒数/千人(全国)	16.6	16.8	17.2	16.7	

※1 H22～H25は文部科学省調査による国・公・私立の確定値

※2 H26は独自調査による速報値(平成27年3月31日現在) 公立小・中学校のみ

34 不登校児童生徒の変容状況(平成26年度)

(単位:件) 平成26年3月31日現在

区分	継続的に登校する(a)	断続的に登校する(b)	登校にチャレンジする(c)	a～cほどではないが、変容が見られる	再登校のきざしが見られない	計
小学校	48	36	14	14	27	139
中学校	118	108	59	55	86	426
高等学校	-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-	-

35 当センターへの不登校相談の対応

(平成25年度)

(単位:回) 平成27年3月31日現在

相談方法	校種等							(a)のうち相談のみ	(a)のうち関係機関と連携	(a)のうち他機関に紹介
	小	中	高	特支	その他	不明	計(a)			
電話	5	11	3	0	0	1	20	9	10	1
メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	11	3	0	0	1	20	9	10	1

36 ハートフルスペースの利用状況

<指導員対応> (平成26年度) (単位:件、回) 平成27年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通 室	件数	8	8	6	11	11	9	6	8	13	8	10	14	943
	回数	82	67	54	92	87	93	88	77	85	76	68	74	
家庭訪問	件数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	回数	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
関係機関 訪 問	件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	1	6
	回数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	1	
電話相談	件数	4	2	3	6	1	4	6	3	9	6	7	9	112
	回数	7	2	3	6	1	7	13	4	15	28	10	16	
来所相談	件数	1	7	7	1	0	5	3	2	6	7	4	3	50
	回数	1	8	7	1	0	6	3	2	6	8	5	3	
総利用件数	件数	10	12	9	11	11	10	8	9	15	9	12	17	26

<ソーシャルワーカー対応…週8時間> (平成26年度) (単位:件、回) 平成27年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所相談	件数	7	5	8	11	11	8	8	8	11	7	7	12	320
	回数	26	21	27	36	26	23	33	18	36	28	16	30	
家庭訪問	件数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5
	回数	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	
関係機関 訪 問	件数	0	2	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	7
	回数	0	2	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	
電話相談	件数	3	1	3	2	1	1	2	2	1	1	0	1	31
	回数	3	1	3	4	1	1	8	4	2	2	0	2	
総利用件数	件数	9	6	9	12	11	8	9	8	11	7	7	13	19

<カウンセラー対応…週8時間> (平成26年度) (単位:件、回) 平成27年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所相談	件数	8	6	10	10	13	8	7	9	12	8	7	14	400
	回数	38	36	33	35	30	27	40	26	40	41	19	35	
訪問相談	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電話相談	件数	3	2	2	1	2	3	3	2	2	3	1	1	48
	回数	3	3	6	5	3	5	7	5	5	4	1	1	
総利用件数	件数	9	7	10	11	14	9	9	10	13	9	7	14	20

※件数は実件数、回数は延回数。  
 ※総利用件数の合計の欄はそれぞれの対応者の年間の実件数。

○意見、要望等

- (1)業務に関する意見・要望等      なし
- (2)監査委員事務局に対する要望等      なし